発電設備の点検結果にかかる再発防止対策行動計画および実施状況の概要

発電設備の点検結果にかかる再発防止対策行動計画 (H19.5.21策定・公表)

発電設備で判明した不適切事象について、経済産業省からの行政処分および指示も踏まえた再発防止対策行動計画を策定

具体的な再発防止対策

具体的な取組みとスケジュールを明記した再発防止対策を策定

<再発防止対策の骨子>

- ・第一線職場への支援策の充実(別紙2 課題区分「J」)
- ・CSRの更なる推進(別紙2 課題区分「J」)
- ・モニタリングの強化(別紙2 課題区分「J」)
- ・全電力での取り組み(トラブル情報共有等)
(別紙2 課題区分「J」)

行政処分への対応

当社の保安規程について、主任技術者の独立性の確保や保安教育の充実等々を明記するように変更し、H19.7.31までに届け出るとともに、これを遵守していく(別紙2 課題区分「V」)

経済産業省からの指示内容への取組み

経済産業省より、更なる安全性確保の観点から、原子力(8項目)火力・水力(3項目)の対策を策定するよう指示を受け、具体的な取組み(別紙2 課題区分「J」)を策定。また、経済産業省の取組みを受けて、対応する事項への具体的な取組み(別紙2 課題区分「J」)を策定
発電設備の点検結果にかかる同省の今後の対応(H19.5.7付策定)

<指示内容(抜粋)>

- ・経営責任者による安全確保に対する関与の強化
- ・保安教育の徹底
- ・原子力・火力・水力等の部門間の情報共有を図り、安全確保に向けた対応能力の強化
- ・火力・水力における電力会社間の情報共有の強化、および他社・他産業からの知見を活用する仕組みの構築

再発防止対策行動計画の実施状況

19年度総括評価

[H20.4.23公表]

社内の「発電設備点検委員会」において、再発防止対策が計画どおり確実に進捗し、浸透しつつあることを確認した。

- ・再発防止対策68項目のうち、28項目については日常業務として実施される仕組みが構築されている。
- ・残り40項目は、19年度に取組みが一巡し、日常業務として実施される仕組みを構築するもの(14項目)、20年度以降に取組みが一巡し、日常業務として実施される仕組みを構築するもの(22項目)、およびそれらをモニタリングするもの(4項目)である。

社外第三者を含む「経営監査委員会」においても、上記同様、再発防止対策が、確実に進捗し、浸透しつつあることを確認した。

20年度総括評価

社内の「発電設備点検委員会」において、再発防止対策が計画どおり確実に進捗するとともに、日常業務として定着を図る仕組みが構築されていることを確認した。

- ・再発防止対策68項目のうち、64項目については日常業務として実施される仕組みが構築されている。
- ・残り4項目については、適宜、原子力安全・保安院からの指示に基づき、必要な対応を実施していく。

社外第三者を含む「経営監査委員会」においても、上記同様、再発防止対策が、確実に進捗するとともに、日常業務として定着を図る仕組みが構築されていることを確認した。

21年度以降の取組み

- ・再発防止対策の実施状況について、各推進箇所において、日常業務として実施の上、経営監査室がフォローする。なお、適宜、原子力安全・保安院からの指示に基づき対応する4項目については、各推進箇所において、必要な対応を実施するとともに、経営監査室が適切に行われているかフォローしていく。
- ・再発防止対策を日常業務として定着させる仕組みが構築されていることを確認したことから、現体制での対策の進捗状況のフォローおよびその公表は終了する。
(発電設備点検委員会は閉会)